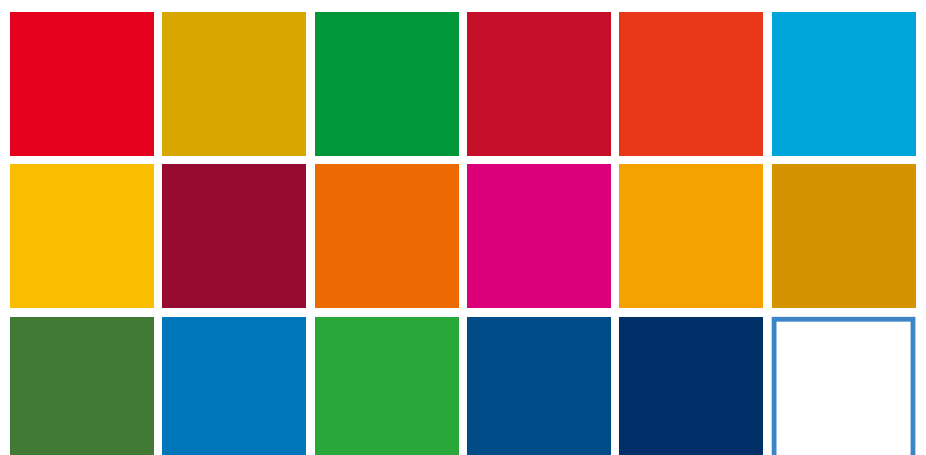


福井県民生活協同組合

サステナビリティレポート 2019





理事長
竹生 正人

2018年度は、県民せいきょう創立40周年という大きな節目の年でした。さまざまな記念事業に取り組むとともに、JA福井県経済連と提携した食品加工センターの稼働や、南越前町と提携した地域コミュニティー型店舗の開設、ハーツ神中のオープンなど新たな挑戦が進みました。おかげさまで事業高は前年に続き過去最高となり、組合員の皆さまのご支援、ご協力に心より感謝を申し上げます次第です。

2019年度は、宅配の利便性をさらに高めていくこと、既存店舗の改装、新たな高齢者福祉施設の開設、共済や生活支援サービスの充実など組合員へのお役立ち向上に取り組んでまいります。加えて、行政や地域のさまざまな団体の皆さまと連携し、買物弱者支援、地域包括ケアシステムの構築、温暖化防止・循環型社会の構築、地産地消の推進、防災・減災の取り組みなど持続可能な地域社会づくりを進めて参ります。

2019年度も、「組合員の満足と地域社会のために」役職員一同まい進する所存です。

目次

- 理念・ビジョン、県民せいきょう概要、2019年度 役員3
- 県民せいきょうの事業4
- 2018年度トピックス6
- 福井県民生活協同組合のSDGs8
- 01 産直・地産地消 ～地域と進める商品作り～10
- 02 ふくいレインボーファーム ～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献～11
- 03 エシカル消費 ～誰かの笑顔につながるお買物～12
- 04 食の安全・安心づくりの取り組み ～食の安全・安心～14
- 05 組合員の声 ～組合員の声を生かす～15
- 06 介護事業・高齢者福祉 ～あなたらしさいつまでも～16
- 07 地域見守り・助け合い ～みんなが安心して暮らせる地域づくり～17
- 08 生活支援 ～あなたの地域にハーツがやってくる～18
- 09 組合員活動 ～もつと広かれ組合員の輪～20
- 10 災害支援 BCP対策 ～つながろう CO・OPアクション～21
- 11 地球温暖化対策・エネルギー対策 ～温室効果ガス削減対策～22
- 12 3Rの推進 ～循環型社会の構築に向けて～23
- 13 人材育成 ～職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりへ～24
- 14 働きやすい職場環境づくり ～仕事と家庭を両立しながら、女性がイキイキと働ける職場に～25
- 15 地域へのお役立ち ～地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援～26

理念・ビジョン

第9次中期計画（2015年～2020年）

理念
組合員の満足と地域社会のために

スローガン
「感謝と挑戦」

使命
食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ち

目指す理想的な姿
「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、健康長寿で安全・安心な福井づくり、組合員と職員、地域との協力の力で高い志を持って挑戦し続ける

大切にしたい組合員価値
「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が54.7%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町では、地域の過半数(2世帯に1世帯)の方が加入されています。

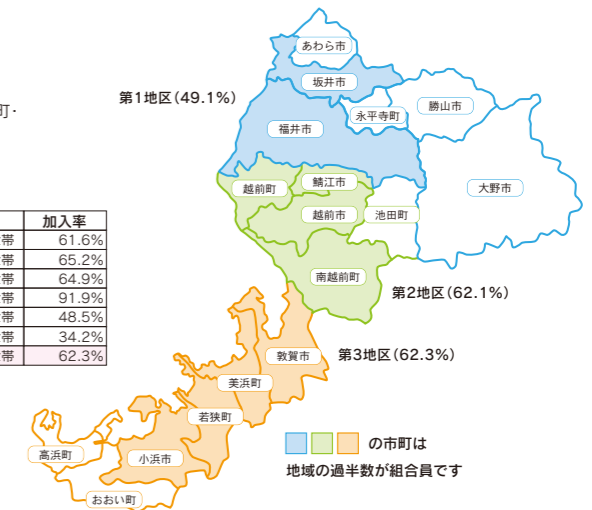
福井県全体	組合員数	世帯数	加入率
	156,951人	286,993世帯	54.7%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	54,372人	103,097世帯	52.7%
あわら市	3,760人	9,859世帯	38.1%
坂井市	15,857人	30,503世帯	52.0%
大野市	3,686人	10,759世帯	34.3%
勝山市	2,488人	7,597世帯	32.7%
永平等町	2,898人	7,351世帯	39.4%
第1地区計	83,061人	169,166世帯	49.1%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	16,588人	26,914世帯	61.6%
小浜市	7,396人	11,348世帯	65.2%
美浜町	2,480人	3,823世帯	64.9%
若狭町	4,378人	4,766世帯	91.9%
おおい町	1,562人	3,222世帯	48.5%
高浜町	1,474人	4,311世帯	34.2%
第3地区計	33,878人	54,384世帯	62.3%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	17,259人	23,665世帯	72.9%
越前市	16,076人	29,129世帯	55.2%
越前町	3,981人	6,486世帯	61.4%
池田町	406人	864世帯	47.0%
南越前町	1,707人	3,299世帯	51.7%
第2地区計	39,429人	63,443世帯	62.1%

※左記以外に県外在住の組合員が583人いらっしゃいます。
(組合員数(人):2019年3月31日現在
世帯数(世帯):2019年4月1日現在)



事業報告

2018年度実績

	実績	前年比
組合員数	156,951人	102.5%
出資金	94億521万円	101.1%
総事業高	237億6,220万円	100.8%
事業高	宅配事業	119億119万円 101.2%
	店舗事業	96億212万円 99.8%
	福祉事業	福祉事業 19億1,052万円 102.5%
	子育て支援事業	1億2,671万円 100.4%
共済事業	2億2,164万円 101.2%	
共済保有件数※	69,341件	99.6%
経常剰余金	1億4,230万円	73.8%

県民せいきょう概要

2019年度計画

	計画	前年比
組合員数	158,500人	101.0%
出資金	95億2,000万円	101.2%
総事業高	246億5,500万円	103.8%
事業高	宅配事業	120億1,100万円 100.9%
	店舗事業	102億500万円 106.3%
	福祉事業	福祉事業 20億9,000万円 109.4%
	子育て支援事業	1億2,300万円 97.1%
共済事業	2億2,600万円 102.0%	
共済保有件数※	70,000件	101.0%
経常剰余金	1億4,500万円	101.9%

※1万円未満は切り捨てています。
※共済の保有件数は、たすけあい、あいがらす、ずつとあい(終身)の合計です。

2019年度 役員

	氏名	備考		氏名	備考
常勤	代表理事 理事長	竹生 正人	非常勤	理事	五島 典子
	代表理事 専務理事	松宮 幹雄			田中 昭子
					朝日 亮子
					山田 久美
常務理事	中川 敦士		浮田 京子		
非常勤	理事	榎原 弘樹		野路 直美	
		今村 善孝		吉田 克己	
		南保 勝		加賀谷 幸恵	
		小林 正能		笹原 麻子	
		山本 道隆		藤原 真理	
		田中 仁和		中山 哲弥	
		岩佐 裕美		寺西 道江	
		小林 一		森永 美保	
		酒井 智吉		岩坂 知美	
		松ヶ平 朝菜		浜本 良美	

県民せい きょうの事業

コープの宅配

カタログでご注文いただいた商品を週1回、決まった曜日に、ご自宅やご指定の場所にお届けします。安全・安心なコープ商品を中心とした生協こだわりの商品(食品・衣料・雑貨など)を豊富に品揃え。福井県全域での組合員にご利用いただいております。



移動店舗
ハーツ便

高齢者介護施設
きらめき

食事宅配

お買物
バス

宅配サービス
コープの宅配

買い物代行
ハーツの
おつかいさん

子育て支援施設
ハーツ
きっず

生協のお店
ハーツ

CO-OP共済

店舗 ハーツ

県内に11店舗ある「ハーツ」、健康長寿と家族団らんを応援するお店です。こだわりのコープ商品、地場や産直の新鮮品など安全・安心な品揃え。リサイクルステーションや、町内会の集まりなどにご利用いただける集会室など、地域に貢献できるお店をめざしています。



生活支援

普段の買物や食事作りに困っている方のために、県内13台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地での買い物支援、買い物代行「ハーツのおつかいさん」では、ハーツの食品やお弁当をご自宅までお届けします。他にもお買物バスや食事宅配など、毎日の食を生協が支えます。



CO-OP共済

CO-OP共済は「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれた保障です。組合員1人ひとりの力が集まって大きなすけあいの輪が広がっています。お手頃な掛金で、医療保障や一生涯安心の終身共済などニーズに合わせてお選びいただけます。



高齢者福祉 きらめき

いつまでも自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしたい。そんな願いを応援する、せいきょうの高齢者介護サービス。県内に12カ所ある介護施設で、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅など、ご希望や状態に応じたサービスがご利用いただけます。



子育て支援 ハーツきっず

ご家族の皆さんが「自分らしく」「安心して」、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。通院時などに便利な一時預かり、ママ・パパ同士の交流も楽しい子育てひろば、入園前の準備として2歳児のプレ保育がご利用いただけます。県内6カ所の施設に加え、ハーツきっず児童クラブを福井市内に3カ所開設しています。



組織概要

■事業概要 (2019年4月現在)

宅配事業(配送センター:4 嶺北センター、丹南支所、敦賀支所、若狭支所)
店舗事業(店舗:11 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつるが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ))
生活支援事業(移動販売車:13 第1地区本部5台、第2地区本部4台、第3地区本部4台)
高齢者介護事業(介護事業所:12 坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、岡保きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき、鮎川きらめき)
子育て支援事業(子育て支援施設:9 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ)

共済事業

■職員数 (2018年度末)

1601名
(正規職員264名、キャリア職員95名
定時職員624名、N職員139名
アルバイト職員479名)

■グループ会社

エルシーコープ株式会社
株式会社コープサービス福井
ふくいレインボーファーム株式会社
株式会社ケア・サービス・アイ
コンビニハーツ株式会社

■関係団体

日本生活協同組合連合会
日本コープ共済生活協同組合連合会
コープ北陸事業連合
福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ
公益社団法人 ふくい・くらしの研究所
福井虹の会
福井県産直協議会

2018年度トピックス

県民せいきょうのできごと	
4月	<p>創立40周年 1978年に福井県より正式認可を受けてから、40周年を迎えることができました。組合員数2千人、事業高2億円からスタートした組織は、2018年には組合員数は15万人、県内の世帯加入率も5割を超え、事業高も237億円までに成長しました。</p> <p>食品加工センターを稼働 ふくいレインボーファームがJA福井県経済連との連携で、地産野菜を使用した弁当や惣菜、食材セットなどを製造する、食品加工センターを稼働しました。</p> 
5月	<p>春の地区総代会議 県内4会場で地区総代会議を開催し、6月の通常総代会に向けて活発な論議が行われました。</p> <p>コンビニハーツオープン 5月19日、南越前町河野にハーツとコンビニの一体店舗「ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り店」をオープンしました。買物の場所としてだけでなく「くらしの拠点施設」として、町民の食とくらしを支えるための新たな出店モデルとなりました。</p> 
6月	<p>第40回通常総代会 2018年度事業計画など3議案全てが賛成多数で可決承認されました。</p> 
7月	<p>40周年文化イベント事業 7月14日、15日に敦賀会場と福井会場で計4公演「おかあさんといっしょ ガラピコぶ〜がやってきた!!」を開催しました。</p>  <p>永平寺と地域見守りに関する協定締結 7月18日に永平寺町と地域見守りに関する協定を締結しました。</p> 
8月	<p>ハーツ神中オープン 7月26日、鯖江市にハーツ神中がオープンしました。</p>  <p>災害募金・支援活動を実施 平成30年7月西日本豪雨を受けて、組合員に募金とタオルの提供を呼びかけました。寄せられた約720万円を共同募金会と日本生協連を通して被災地にお届けしました。また、被災地にボランティア3名を派遣しました。</p> 
9月	<p>福井国体を応援 50年ぶりに福井県で開催された「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」に、オフィシャルサポーターとして応援しました。開会式や閉会式には、当生協が考案、ふくいレインボーファーム製造の弁当が採用されました。</p> 

10月	<p>創立40周年記念式典を開催 10月29日に、首長・全国生協・取引先・歴代役員含め約180人にご出席いただき、創立40周年記念式典を開催しました。</p>  <p>北海道胆振東部地震 緊急募金 贈呈 9月6日未明に、北海道胆振東部地方で発生した震度7の地震を受けて、被災地支援のために緊急募金を呼びかけました。寄せられた約492万円を共同募金会・日本生協連を通じて被災地にお届けしました。</p> 
11月	<p>秋の地区総代会議 県内4会場で地区総代会議を開催。2018年度上期の振り返りと下期の方針、個配手数料改定の説明を行いました。</p>  <p>厚生労働大臣表彰を受賞 社会的課題の解決に向けて事業を主導し、健全経営と組合員満足度向上、地域社会へ貢献したことを評価され、竹生理事長が厚生労働大臣表彰を受賞しました。また、コープ北陸事業連合が組合表彰部門で受賞しました。</p> 
12月	<p>しげちゃん一座 絵本ライブ 12月2日に、県立若狭図書館学習センターにて、第3地区委員会の40周年記念企画として、女優の室井滋さん率いるしげちゃん一座による絵本ライブを開催しました。</p>  <p>あったかサポーターをハーツ全店に配置 ハーツ全店にあったかサポーターを配置し、事業の総合窓口として買物や生活支援に関するお困りごとに対応できるようになりました。</p>
1月	<p>ハーツ羽水 リニューアル 1月25日にハーツ羽水をリニューアルオープンし、買いやすい売場に改善しました。</p> 
2月	<p>「はじめてばこ」の取り組みをスタート 福井テレビ開局50周年記念事業に協賛し、県内に生まれてきてくれた赤ちゃんの幸せを願い「はじめてばこ」を県民せいきょうがお届けして、福井の子育てを応援します。</p> 
3月	<p>池田町と地域見守りに関する協定締結 3月1日に池田町と地域見守りに関する協定を締結しました。これにより県内17全ての自治体と協定締結となりました。</p> <p>イクボス宣言 部下が子育てや介護と仕事の両立ができるように配慮する上司「イクボス」となることを宣言し、働きやすい環境づくりに取り組みます。</p>  <p>学びなおし・人材育成モデル企業に認定 職員の自己啓発支援などに積極的な事業所のモデル企業として認定されました。</p> 

福井県民生活協同組合は SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます

県民せいきょうは、「組合員満足と地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsのめざす姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことをめざしていきます。



[SDGs17の目標とロゴマーク]

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう



日本生協連では、2018年6月15日に開催された第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生活協同組合もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。県民せいきょうも「コープSDGs行動宣言」の7つの取り組みを通じて、引き続き持続可能な社会の実現をめざします。

<p>持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます</p>	<p>地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します</p>	<p>世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します</p>	<p>核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します</p>	<p>ジェンダー平等 (男女平等) と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します</p>	<p>誰もが安心して住み続けられる地域社会づくりに参加します</p>	<p>健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます</p>
---	---------------------------------------	---	----------------------------------	---	------------------------------------	---------------------------------------

01

産直・地産地消

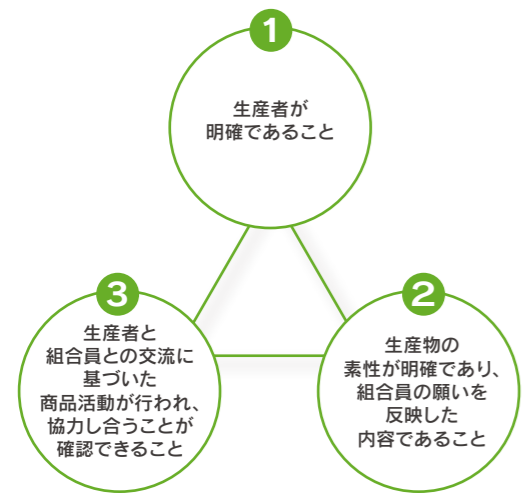
～地域と進める商品作り～



生協の産直は、食の安全を願う組合員を生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。

産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数

(福井県:59)
(県外 :16)

コープ北陸 生産者・団体数 (58)



	17年度	18年度	前年比
産直比率(宅配)	34.9%	32.8%	94.0%
産直比率(店舗)※農産	19.9%	22.8%	114.6%
地産比率	19.7%	19.4%	98.5%



▲ハーツしめじの生産者

産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2018年度は、38企画の交流会を行い、のべ2,744人の組合員が参加しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



◀林農園
じゃがいも
オーナー
(第1地区)



◀田んぼの天使
有機の会
井上さんの畑
(第2地区)



◀クリス
ファーム
杉田さんの畑
(第3地区)

地産地消をすすめる協定

花咲ふくい農業協同組合と「地産地消をすすめる協定」を締結

2017年6月に、ハーツはるえにおいて、「地産地消をすすめる協定」の調印式を行いました。協定では、「協同組合間協同」の取り組みを通して、地域農業の活性化ならびに県内農産物の消費拡大につなげていくことをめざしています。

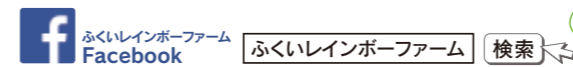
さらなる丘コーナー▶



◀(写真右)花咲ふくい農業協同組合
富田 勇一代表理事組合長
(写真左)福井県民生活協同組合
竹生 正人理事長

02

ふくい レインボーファーム



農場の様子など
随時更新中!



～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくり貢献～



「ふくいレインボーファーム」は、安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。

農業体験や食育活動

新人職員や、店長研修、大学ゼミを通じた学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーファーム応援団を結成し、組合員の皆さんと共に農作業に取り組んでいます。

	17年度	18年度	前年比
レインボーファーム応援団登録人数	94人	103人	109.6%



福井初 ギャップ グローバルGAP 個別認証を取得

適切で効率的な農場管理を実践するための手法で以下の4つを柱として管理点が定められています。

- 1 安全な農作物の生産と出荷
- 2 作業者の労働安全と福祉の確保
- 3 信頼できる販売管理
- 4 環境へ配慮した生産活動

グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する農業者に与えられる事業ブランドです。2017年11月に、福井県内の農業法人では初めて、キャベツ、みかん、米の3品目にてグローバルGAPの個別認証を取得しました。



現地審査の様子▶

【登録番号】
4059883205336
【認定登録日】
2017年11月20日
【有効期間】
2018年11月17日～2019年11月16日
【認証作物】
米・キャベツ・みかん

食品加工センターの整備

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農産物を使用した惣菜や弁当の製造を行う、食品加工センターの整備を進め、2018年4月より稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セットパワッとCOOK、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜を製造しています。衛生管理も徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。2018年7月には、福井県版HACCPの認証を取得しました。



03

エシカル消費

～誰かの笑顔につながるお買物～



生協では、「地域」「社会」「環境」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買物」と表現して、積極的に応援しています。6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。2019年度は「海」「森」「プラスチック」のエシカルを重点的に進めています。

6月エシカル消費「環境」月間

6月環境月間には、環境マークを集めるキャンペーンを実施し、組合員に身近な商品が環境に配慮されている商品であること、エシカルの考え方について紹介しました。

FSC® 森の資源を守る



FSCの認証を受けた商品は、森林を守る基準に沿って森林を管理し、その森林の木で作られた商品を森から家庭まで確実に届ける管理をしています。



コープティッシュ▶

レインフォレスト・アライアンス認証



地球環境保全のために熱帯雨林を維持することを目的としています。SAN(サステナブル・アグリカルチャー・ネットワーク:持続可能な農業ネットワーク)の定める基準に基づいて認証されます。



MSC認証(海のエコラベル)

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業でとれた水産製品です。



いのちの森商品 (KEEP THE GREEN マングローブ植樹活動)

インドネシア産ブラックタイガーの産地で、自然環境保全・持続可能な養殖事業をめざし、マングローブの植樹活動を行う取り組みです。



6月の環境月間にマングローブ植樹を応援する支援を行い、商品1点の購入につき1円を寄付しました。



サンゴ基金

サンゴ礁の再生をはかり、沖縄の海を守る



環境を守りまた循環型漁業を推進するために、沖縄県恩納村と「サンゴ植樹活動支援協定」を締結し、利用代金の一部を寄付に充て支援しています。



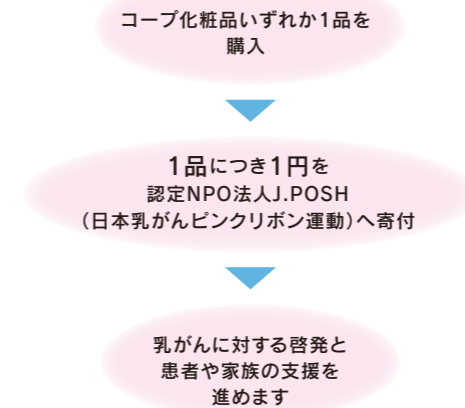
10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動



世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行いました

認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付し、J.POSHへの協賛を行いました。



ピンクリボンキャンペーンでは、職員と組合員に化粧品のマイスター「ビューティーアドバイザー」の育成を行い、職員・組合員30名が修了して登録を行いました。



CO-OP×レッドカップキャンペーン

対象の商品1品につき1円が、国連WFPを通じて飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。2017年度からカンボジア王国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及びカンボジア政府による自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



©WFP/David Longstreath

コアノスマイルスクールプロジェクト

CO-OPコアンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。「人を育てる」「知識を伝える」ことを目的に教師を育成したり、「設備を整える」ことを目的に安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



エシカル消費月間(環境月間)実績

単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	17年実績	18年実績	前年比	17年実績	18年実績	前年比	17年実績	18年実績	前年比
MSC商品	1,424	2,306	161.9%	15	336	2240.0%	1,439	2,642	183.6%
FSC商品	5,357	8,174	152.6%	1,871	1,670	89.3%	7,228	9,844	136.2%
レインフォレスト・アライアンス認証	95	610	642.1%	77	196	254.5%	172	806	468.6%
CFP(カーボンフットプリント商品)	2,614	2,240	85.7%	94	580	617.0%	2,708	2,820	104.1%
その他環境配慮商品	362	868	239.8%	648	331	51.1%	1,010	1,199	118.7%
対象商品合計供給高	9,852	14,198	144.1%	2,705	3,113	115.1%	12,557	17,311	137.9%

04

食の安全・安心 づくりの取り組み

～食の安全・安心～



商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB(プライベートブランド)商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB(ナショナルブランド)商品や市場手配の農産物についても仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。

- 1.安全であること
- 2.安心できる品質であること
- 3.適正価格であること
- 4.生鮮商品は新鮮であること
- 5.くらしの見直しやくらしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

コープ商品

日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

福井県民生協オリジナル商品

県民せいきょうが開発しているハーツオリジナル商品。

コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

コープこうべ開発商品(コープス)

コープこうべが開発しているコープ商品。

安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

2018年度検査数

項目	17年度実績	18年度実績	前年比
商品検査数	9,002件	8,801件	97.8%
工場点検数	293件	271件	92.5%

検査項目	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,801品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 119品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

HACCP 「福井県版HACCP(ハサップ)」の取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準どおり製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、きらめきにおいて「福井県版HACCP」認証を取得し、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



福井県版HACCP認証数	
ハーツ(農産・水産・畜産・惣菜の各部門)	10店舗
ハーツ生鮮加工センター	1施設
きらめき(厨房施設)	8施設



▲ハーツ神中の認証取得

カバー付きフードケース導入

衛生面から、ハーツ惣菜バイキング売り場をカバー付きフードケースに切り替えています。バイキング用のトングは2時間ごとに消毒交換、売り場の清掃を徹底し、衛生管理に努めています。



05

組合員の声

～組合員の声を生かす～



組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2018年度は13万6488件の声が集まりました。

	17年度実績	18年度実績	前年比
コールセンター	121,341件	125,491件	103.4%
ひとことメモ	2,139件	2,815件	131.6%
ハーツ私のこえ	568件	704件	123.9%
共済アンケート	948件	617件	65.1%
介護利用者の声	1,133件	1,518件	134.0%
子育て利用者の声	3,589件	3,298件	91.9%
地区・事業委員会の声	1,030件	937件	91.0%
総代通信おたより	133件	151件	113.5%
機関誌おたより	339件	219件	64.6%
その他	680件	738件	108.5%
合計	131,900件	136,488件	103.5%

	17年度実績	18年度実績	前年比
商品品質お申し出	2,915件	3,672件	126.0%
接客他お申し出	6,933件	6,080件	87.7%
良い声	5,707件	5,316件	93.1%
企画・品揃え要望	1,268件	1,404件	110.7%
意見要望	2,281件	2,298件	100.7%
問い合わせ	83,335件	82,026件	98.4%
地域の声	226件	298件	131.9%
その他	29,235件	35,394件	121.1%
合計	131,900件	136,488件	103.5%

組合員の声

お惣菜売り場のコロッケにカバーが無いので、衛生的によくないのでは。
→お惣菜売り場に、カバー付きフードケースをつけて衛生面で向上して組合員に喜ばれました。(ハーツさばえ店)

項目	17年度実績	18年度実績	前年比
商品品質お申し出発生率(宅配全体)	90ppm	89ppm	98.9%
商品品質お申し出発生率(宅配農産)	367ppm	415ppm	113.1%
商品品質お申し出発生率(店舗全体)	14ppm	15ppm	107.1%
商品品質お申し出発生率(店舗農産)	56ppm	64ppm	114.3%
お申し出満足度調査(初期対応)(5点満点)	3.8点	4.0点	105.3%

※ppm…100万分の1

総代会、地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、総代会と年2回の地区総代会議を開催し、方針や、日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回総代アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



総代アンケートの声

- ・「あわらきらめき」や「社会福祉法人の設立」など、高齢者介護サービスへの期待
- ・コンビニハーツの更なる出店や、お買物バスやハーツ便等、生活支援への期待
- ・職員への対応のお褒めの言葉(現場の担当者への感謝の声)
- ・フードバンク、フードドライブ、子ども食堂への支援への評価
- ・宅配のチラシの量をもっと減らして欲しいという要望の声
- ・知りたい情報が確実に届くように、広報活動を強化して欲しい

これらの声は、総代の声として、方針などに展開していきます

ポイント制の導入

2017年度より組合員還元を、組合員から要望の高かった「ポイント制」に変更し、お買物をしてポイントを貯める楽しみにつながりました。ポイント制に移行したことで、特に若い世代の組合員の支持が高まりました。

06

介護事業・高齢者福祉

～あなたらしさいつまでも～



「あなたらしさいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるように、介護保険サービスや様々な啓発活動・まちづくり活動を行っています。

■ 介護事業きらめき各サービス

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	8拠点	認知症対応型グループホーム	3拠点
デイサービス	6拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	3拠点
ホームヘルプサービス	8拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	12拠点
訪問看護サービス	1拠点	地域包括サブセンター(越前市)	1拠点
小規模多機能型居宅介護	9拠点	介護タクシー	2拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護)	2拠点

2019年4月、岡保きらめきでグループホームの事業を新たに開始しました。

■ 生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしくらしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご本人様の気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートさせていただいています。

生協10の基本ケアとは

- ①換気をする
病気や心身機能低下にならない環境づくりをサポート
- ②床に足をつけて座る
足を使った起居動作を習慣として身体づくりをサポート
- ③トイレに座る
トイレで排泄を継続するのは尊厳の基本として排泄サポート
- ④あたたかい食事をする
調理や盛り付けを行い親しい方と楽しい食事のサポート
- ⑤家庭浴に入る
生活リハビリの効果から家庭浴の湯船につかる習慣をサポート
- ⑥座って会話をする
座って時間を共に過ごし、ご本人のペースの安心感をサポート
- ⑦町内にお出かけをする
地域に出かけ社会性や精神的な豊かさを持つことをサポート
- ⑧夢中になれることをする
好きなことに夢中になれる機会や居場所づくりをサポート
- ⑨ケア会議をする
社会性ある豊かな暮らしを、ご本人やご家族と話合うサポート
- ⑩ターミナルケアをする
人生の最終段階までご本人らしく過ごすことをサポート

■ 認知症サポーター養成講座

職員や地域の方を対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動を行っています。

● 認知症サポーター数
1,127人



■ 認知症カフェ

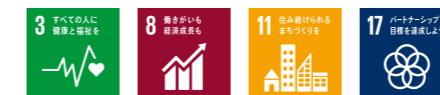
認知症にやさしい地域づくりをめざして、情報発信の場づくりや当事者の居場所づくりを行っています。2018年度は、丹南きらめきで、コメダ珈琲様やトヨタ自動車販売店様といった地域の企業や行政を連携した啓発なども行いました。



07

地域見守り・助け合い

～みんなが安心して暮らせる地域づくり～



■ 地域見守り協定

宅配など業務を通じて地域の高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動に取り組んでいます。2018年7月永平寺町、2019年3月に池田町と協定を締結し、福井県内全市町と協定締結を結びました。

■ 子育て支援

子育て支援 ハーツきつず



ご家族の皆さんが「自分らしく」「安心」して子育てできる環境づくりに取り組み、子育てひろば、一時預かり、2歳児を対象としたプレ保育、放課後児童健全育成事業(児童クラブ)を行っています。また、最近では乳幼児対象の「なかまほいく」や0歳児対象の「BPプログラム」に取り組み支援の幅を広げています。

●ハーツきつず 6施設 ●ハーツきつず 児童クラブ 3施設



すくすく便

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、すまいるFカードをお持ちの組合員は通常150円(税別)の個配手数料が50円(税別)になります。

●登録人数 10,626人

ハーツ子育てママ応援デー

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント5倍になります。

●ハーツ子育てママ登録件数 8,315人



■ CO・OP共済

「たすけあい」「あいぶらす」「ずっとあい」

相互の助け合い、暮らしの中の危険による損失を保障することを中心に、暮らしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄り、落ち着いた相談できるカウンターとなっています。

■ 共済実績

項目	17年度実績	18年度実績	前年比
共済保有件数	69,608件	69,341件	99.6%
共済加入率	23.2%	22.5%	97.0%

一生
保障

手術・入院
ケガ通院

我が家も
サポート



2018年度は、プラチナ85コース(65歳以上専用コース)に先進医療特約を付帯できるようにし、保障を充実させる商品改定を行いました。また、個人賠償責任保険の保障開始日を「たすけあい共済」と合わせ、より分かりやすい案内ができるようになりました。



地域見守り協定
県内全市町
(17市町)

あわら市・坂井市・福井市・永平寺町
大野市・勝山市・鯖江市・越前市・池田町
敦賀市・小浜市・越前町・南越前町
美浜町・若狭町・おおい町・高浜町

生活支援

～あなたの地域にハーツがやってくる～



普段の買物や食事作りに困っている方のために、移動店舗「ハーツ便」、食事宅配、買物代行「ハーツのおつかいさん」で食品やお弁当をお届けします。

移動店舗 ハーツ便

中山間地を中心に、買物に不自由をきたしている方の支援として定期巡回しています(刺身・お肉・惣菜・食品など約700品目積載)。高齢者の見守り、コミュニティの場づくりとしての役割も果たしています。移動店舗は全体で13台となり、県内各地のハーツを拠点に商品をお届けしています。

中型車はグループで集まっていたら、小型車は、おひとりでも利用いただけるようになっています。



	中型車	小型車	合計
ハーツ便2018年度末導入実績	10台	3台	13台

	17年度	18年度	前年比
ハーツ便拠点数	808箇所	812箇所	100.5%

買物代行「ハーツのおつかいさん」

“買物に行く時間や手段がない”との声にお応えする買物代行「ハーツのおつかいさん」。電話でご注文いただいた商品をハーツからお届けしています。



◀ご自宅までお届け

	17年度	18年度	前年比
おつかいさんのべ利用人数	5,326人	5,889人	110.6%

お買物バス

高齢の方や車での来店が困難な方などに、ワゴン車を運行

買物に行きたいけど手段がない方をご自宅から最寄りのハーツまで、無料で送迎する「お買物バス」。ハーツ各店では、週1回(月～金)ご自宅からハーツまで決まった時間に無料で送迎しています。全ての店舗でお買物バスを運行しています。

	17年度	18年度	前年比
お買物バス台数	12台	13台	108.3%
お買物バス登録者	627人	695人	110.8%



食事宅配「夕食宅配、介護食・医療食」

家庭的なバランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。かむ力・飲み込む力が弱い方や食事制限が必要な方には介護食・医療食でお応えしています。



	17年度	18年度	前年比
夕食宅配弁当食数(週平均)	4,867食	5,545食	113.9%
介護・医療食食数(週平均)	1,984食	2,301食	116.0%

生協葬祭 みれい

真心・協心・安心

生協葬祭「みれい」は、ご利用される方にご満足いただけるよう、安心感の高いお世話をさせていただきます。

	17年度	18年度	前年比
みれいの会会員数	2,683人	2,715人	101.2%
葬儀年間施行件数	95件	79件	83.2%
葬祭事業シェア率	1.30%	0.86%	66.2%



▲説明会の様子

ほのぼののハーツ(障がい者雇用)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために

障がい者福祉サービス事業所(就労継続支援)として2012年7月に事業をスタートしました。

主に県民せいきょうの事業所(支所・センター・ハーツ各店・生鮮加工センター)で、一般就労に近い環境の中、現在約100名の障がい者の支援員や障がい者の皆さんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

事業所名	ふくい事業所	たんなん事業所	さかい事業所	嶺南事業所
定員	40人	20人	20人	20人
開始日	2012年5月1日	2014年7月1日	2015年1月1日	2016年1月1日

法人理念

「誰もが、安心してくらせる地域社会をめざします」



きらめきくらしのサポート

あなたが…わたしが…「ちょっと困った、助けてほしい」という時にお互い助け合える、支え合える…そんな温かな心のふれあいを大切にしたい。



「きらめきくらしのサポート」は、くらしの中で困ったことがあれば、お互いに助け合って、安心できるくらしを守っていくという発想から生まれた仕組みです。きらめきくらしのサポートでのサービスは専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援しています。くらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。

	17年度	18年度	前年比
総活動時間	11,067h	11,102h	100.3%
活動回数	6,324回	7,256回	114.7%
のべ利用人数	1,519人	1,667人	109.7%

09

組合員活動

～もっと広がれ組合員の輪～

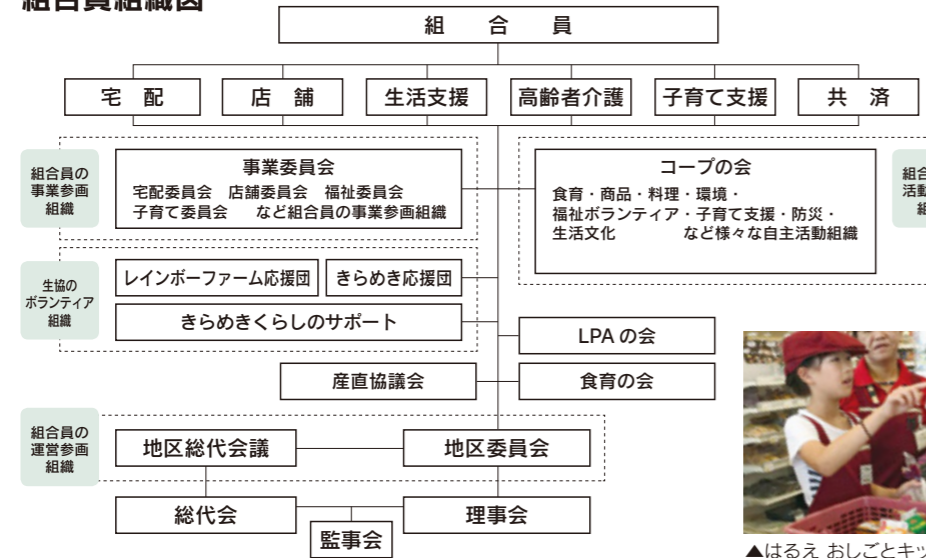


組合員同士が集まって取り組む商品学習や、食・環境・福祉などさまざまなテーマで行う活動を応援しています。地域やテーマに応じて地域のNPOや団体とも連携し、さまざまな活動が取り組まれています。

- ①一人では実現できない願いをみんなの活動で実現する活動(自主自発の活動)
- ②生協ファンを増やし生協の商品やサービスの良さを広げていく活動(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域の皆さまと一緒に解決していく活動(地域を支える活動)

組合員活動組織

組合員組織図



項目	17年度	18年度	前年比
運営参加人数	5,781人	6,289人	108.8%
活動参加人数	21,883人	30,267人	138.3%
コープの会数	29コープの会	31コープの会	106.9%

市民活動助成制度

2006年より「社会貢献基金」を創設し、県内で社会貢献活動に取り組むNPOや市民団体を応援。これまでに146団体に、850万円の支援を行っています。第13回(2018年度)は17団体に98万円の助成を行いました。

活動拠点	団体名	活動分野	活動拠点	団体名	活動分野
坂井	ピアセミナー実行委員会	その他社会貢献活動	丹南	越前市「みんなの食堂」実行委員会	食育・福祉・子育て支援
福井	ぶんぶんセラピードッグ協会	福祉	丹南	福井ドレミの会	福祉
福井	DecoとBocoの会	福祉	丹南	NPO法人 越前市障がいスポーツクラブ	福祉
福井	新江守中ボランティアグループ	福祉	敦賀	呉竹町つばやき茶屋	福祉
福井	日本コダーイ協会全国大会福井実行委員会	子育て支援	敦賀	福井県医療生活協同組合 子ども食堂 おひさま	子育て支援
福井	明新ハンドベル クワイア	子育て支援	敦賀	カンガルークラブ	子育て支援
福井	子育て支援NPO いのいいないばあ	子育て支援	敦賀	動物たちとの共生を推進する会	その他社会貢献活動
福井	ふおーまま倶楽部	子育て支援	敦賀	市民活動心えす実行委員会	その他社会貢献活動
福井	親子体験サークル RACCOON(らくーん)	子育て支援			

10

災害支援 BCP対策

～つながろう CO-OPアクション～



東日本大震災支援

被災地を支える

福島の子どものための保養活動を行う県内4つの団体(子ども144人)に食材を支援しました。

被災地の現状を知る～忘れない取り組み～

組合員と職員が被災地を訪れ、復興の現状を学習しました。

みやぎ親子 スタディツアー(7月)

石巻市南三陸町の視察、名取市の仮設住宅への訪問、「関上の記憶」で語り部さんから震災当時のお話を聞きました。



桜ライン311植樹ツアー(11月)

岩手県陸前高田市の桜の植樹にあわせて、釜石市での語り部さんのお話と視察などを行いました。



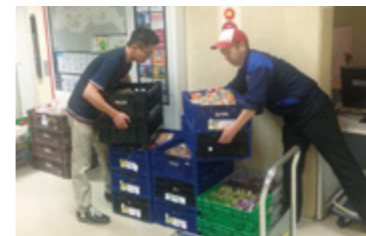
買って支える～被災地の商品利用で復興支援～

宅配や店舗ハーツで開発商品「*Heart's* 岩手・田老産真崎わかめ」の普及に取り組みました。



自治体との 災害時物資協力協定

現在16市町との協定を締結し、大震災など災害が発生した場合、物資提供に迅速に取り組みます。



坂井市・あわら市・福井市・大野市・勝山市・鯖江市・越前市・敦賀市・小浜市・永平寺町・越前町・南越前町・美浜町・若狭町・おおい町・高浜町

平成30年7月 豪雨災害支援活動

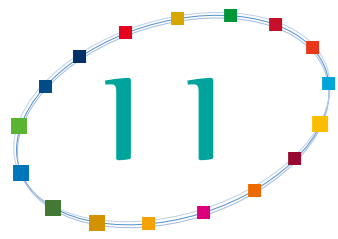
7月西日本中心に発生した大規模な豪雨災害に対して、広島や岡山へのボランティアセンターへの職員派遣や緊急募金を呼びかけました。寄せられた募金約720万円を共同募金会・日本生協連を通じて被災地にお届けしました。



北海道胆振東部地震 緊急募金 贈呈

9月6日未明に、北海道胆振東部地方で発生した震度7の地震を受けて、被災地支援のために緊急募金を呼びかけました。寄せられた約492万円を共同募金会・日本生協連を通じて被災地にお届けしました。





地球温暖化対策・エネルギー対策

～温室効果ガス削減対策～



県民せいきょうは、環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会の皆さんと共に、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かな暮らしと地球環境保全の実現をめざします。

温暖化防止自主行動計画

2005年度より、温暖化防止自主行動計画を定め、CO₂の排出抑制に努めています。しかしながら、店舗や福祉施設などの増加により、生協全体でのCO₂排出量は増加しています。2018年度は、ハーツ羽水の改装を行い、フロン対応にあわせ、ショーケースなどの入れ替えを行い、施設の省エネ対策によるCO₂削減を進めました。今後は、自然エネルギー導入などの調査研究を行ってまいります。(電気のCO₂の排出係数は、暫定数値として0.423を使用しています)

CO ₂ 排出量	実績			計画
	2005年度	2017年度	2018年度	2020年度
宅配CO ₂ 排出量	2,624t	5,141t	5,570t	6,200t
店舗CO ₂ 排出量	1,028t	816t	1,065t	800t
福祉CO ₂ 排出量	95t	1,081t	895t	800t
本部CO ₂ 排出量	209t	149t	160t	120t
物流CO ₂ 排出量	0t	164t	65t	80t
全体CO ₂ 排出量	3,956t	7,351t	7,755t	8,000t
(2005年度比)	100.0%	185.8%	196.0%	202.2%

太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度 (FIT: Feed-in-Tariff) を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。発電規模は16ヶ所で2,358kWとなりました。



生協グループの発電設備 (16ヶ所 2,358kW)		※2019年4月現在
・丸岡物流センター(坂井市) 350kW	・丸岡物流センター(増設) 100kW	・丸岡学園(福井市) 55kW
・本部センター(福井市) 30kW	・嶺北センター(福井市) 273kW	・ハーツ志比口(福井市) 55kW
・丹南センター(鯖江市) 55kW	・丹南センター(鯖江市) 55kW	・ハーツさばえ(鯖江市) 55kW
・敦賀支所(敦賀市) 55kW	・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツたけふ(越前市) 55kW
・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツつるが(敦賀市) 55kW
・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・ハーツわかさ(小浜市) 55kW
		・第2生鮮加工センター(福井市) 55kW
		・その他(福井市) 1,000kW

ハーツの省エネ対策

ハーツ全店でデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更や照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース



ベース照明LED
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。



デュアルラインショーケース



セラミックタイル
光の反射により店内を明るく見せることができます。



BEMS(ハーツはるえ)
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムBEMS。



3Rの推進

～循環型社会の構築に向けて～



エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

福井県民生協で回収している資源とリサイクル品

ダンボール	紙製品
新聞紙 新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
飲料用紙パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック	プラスチック製品
発泡トレイ	プラスチック製品
アルミ付紙パック エコキャップ	原料
小型家電	
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

2018年度エコセンター回収実績

注文書	1,868,473kg
ダンボール	662,243kg
新聞紙	146,306kg
プラスチック類	88,714kg

買物袋持参運動(リデュース)

2007年10月にハーツつるがで、福井県内の食品スーパーとして初めてレジ袋の有料化を実施し、現在9店舗でレジ袋の有料化を行っています。2018年度は4団体、行政にレジ袋の収益金の寄付を行いました。

持参率年次推移

	2017年	2018年	前年比
はるえ	92.6%	92.6%	100.0%
羽水	93.7%	93.9%	100.2%
学園	89.8%	89.5%	99.7%
志比口	92.4%	91.9%	99.5%
さばえ	93.5%	93.4%	99.9%
神中	—	89.5%	—
たけふ	93.4%	93.4%	100.0%
つるが	90.8%	90.8%	100.0%
三方五湖	93.6%	96.9%	103.5%
わかさ	37.8%	35.9%	95.0%
全店平均	86.4%	86.8%	100.4%

2018年度寄付先

- 坂井市 ■敦賀市
- 福井市環境会議
- エコプラザさばえ

レジ袋の販売によって得た収益は、地域の環境団体への寄付と環境分野の組合員活動に活用しました。

※わかさでは、レジ袋の有料化は行っていません。



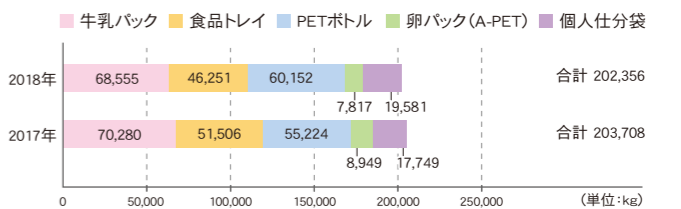
容器包装リサイクル(ハーツ店頭回収・コープの宅配配送時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさんの容器包装を回収しています。



リサイクルBOX

容器包装リサイクル回収量推移



リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。

2018年度(2018年4月～2019年3月)

古紙	1,304,170kg回収
廃食油	16,353kg回収



食品ロス・食品リサイクルの取り組み

毎日発生する食品廃棄物を再利用するリサイクルループの取り組みを行っています。

堆肥化率

	2017年	2018年	前年比
はるえ	79.1%	64.7%	81.8%
羽水	73.1%	87.0%	119.0%
学園	77.1%	82.3%	106.7%
志比口	80.0%	77.3%	96.6%
さばえ	72.3%	73.7%	101.9%
神中	73.3%	65.2%	88.9%
つるが	75.8%	79.6%	105.0%
全店平均	75.8%	75.7%	99.8%



※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていません。



「生ごみ」を「資源」に
～リサイクルループの取り組み～

生産 産直生産者が堆肥を使って野菜を生産

排出 ハーツから生ごみ排出

処理 生ごみを堆肥化

商品 産直商品としてハーツへ



人財育成

～職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりへ～



組合員の笑顔やありがたい言葉に喜びを感じる中で、考え、学び、行動できる人財を育てていくために、学び育む教育制度や、傾聴、感謝、褒める、祝うといった組織風土づくりを積極的に進めています。

学び育む教育制度

入協後の基本教育としてのOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基本に、職員一人ひとりに応じた教育を行っています。さらに、職員の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育、資格取得、講座受講対象者に対し助成金支給を行う自己啓発制度を設けています。

創発と共創を促す組織風土

- 褒め認め合う組織づくり
- ・マイスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
- 役員懇談会の実施
- 職員ニーズの把握
- ・自己申告書・職員満足度調査



働きやすい職場環境づくり

～仕事と家庭を両立しながら、女性がイキイキと働ける職場に～



次世代育成支援対策推進法に則り、次世代育成支援や女性の働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりをめざしていきます。

働きやすい職場環境づくり

- 仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度として、ベビー休暇制度(男性の育児休暇)の推進や、一時パート制度があります。また、企業内託児制度によって、育児と仕事の両立を支援しています。
- 心と体の健康維持・増進活動や、女性のキャリア形成支援、多様な働き方に対応できる雇用フレーム(地域制限職員、職種制限職員)などの支援も行っています。
- 共済会り～ふでは、職員の交流企画や各種助成制度、団体旅行などを行っています。



イクボス宣言

職員のワークライフバランス実現に向けた具体的な取り組みを進めていくために、2019年3月に「イクボス宣言」を行いました。

イクボス宣言内容

- ①職員の働き方改革・生産性改革に取り組み、時間外労働の削減と有給休暇取得を推進
- ②「傾聴」「感謝」「褒める」「祝う」を通してチャレンジし続ける職場風土の構築
- ③挨拶・声かけを率先し、風通しの良い職場環境づくりと多様な働き方を認め合う職場づくり



ワークライフバランス

2016年4月より施行された「女性活躍推進法」に定める行動計画も組み込み、仕事と家庭の両立や働きやすさ、仕事のやりがいなどを醸成する政策など計画化して労働安全衛生の維持向上・女性の活躍支援・障がい者雇用・高齢者雇用・家庭と仕事の両立が可能な働きやすい環境整備・所定外労働時間の削減・有給取得などに取り組みました。

女性活躍推進法「えるぼし」に北陸初認定

女性の活躍を推進している企業として厚生労働省から「北陸初」となる認定を受けました。



県内2企業目 新基準になり初! プラチナくるみん認定企業に認定

「プラチナくるみん」認定は、くるみん認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が受けることができる認定です。この度、新基準となってから初のプラチナくるみん認定企業として認定されました。また当生協は、2016年4月1日より施行されている女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)で最高位の認定も受けており、プラチナくるみん認定とえるぼし認定三段階目の2つの認定を取得した企業は北陸では初となります。



	17年度	18年度	前年比
まなぶ座開催数	13回	12回	92.3%
まなぶ座参加人数	193人	201人	104.1%

	17年度	18年度	前年比
女性管理職比率	16.1%	15.4%	95.7%
女性管理・監督職比率	46.1%	46.8%	101.5%
有給取得率(全体)	54.8%	64.5%	117.8%

経営品質の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の向上につなげる提案制度で、年間5千件近くの提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、部内報で共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。



〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。2018年度は127チームが取り組み、15チームが表彰されました。ノーベル仕事品質賞(金賞)に選ばれたのは事業NW 宅配支援の「宅配事業所の6S意識向上により事故を未然防止しよう」の取り組みです。



▲2018年度ノーベル仕事品質賞受賞チーム

2018年度ノーベル仕事品質賞

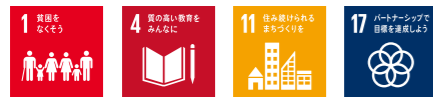
- 金賞: チームたくはい(事業NW 宅配支援)
「宅配事業所の6S意識向上により事故を未然防止しよう」
- 銀賞: 店舗部門: チームスマイル(ハーツたけふ)
「近隣の競合店のオープンに向け、新しい組合員さんをたくさん増やそう!」
高齢者介護部門: 江守小規模(江守きらめき)
「毎日の生活の充実のために」
子育て支援部門: しひぐつち(きつづ志比口)
「環境作りを通して子育て」
地区本部/本部部門: チームO(第2地区本部)
「総代になってよかったと思ってもらおう!」

	17年度	18年度	前年比
業務改善好事例表彰数	16件	15件	93.8%
業務改善参画度	32%	34%	107.5%
アイデア提案件数	5,260件	4,699件	89.3%
職員満足度調査結果(総合満足)	36.0%	39.1%	108.6%
コアパーソン比率	49.5%	51.7%	104.4%
仕事品質向上活動取り組みチーム数	133件	127件	95.5%



地域へのお役立ち

～地域とのつながりを大切に
安全・安心な地域づくりを応援～



県民せいきょうでは地域、組合員のくらしの状況に応じて、事業ネットワークや組織ネットワーク、地域ネットワークを推進し、組合員と地域へのお役立ちを高めます。また、自治体や地域団体との連携強化で、地域に役立ち、感謝される組織をめざします。

項目	17年度	18年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	269件	273件	101.5%

生活困窮者のためのフードバンク食料支援・子ども食堂への食材支援

2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、福井県社会福祉協議会を通じて年3回寄付しています。生活困窮者や児童養護施設に提供されます(フードバンク)。2016年からは、子ども食堂に取り組み団体への食材提供も行っています。

項目	回数	数量	金額
福井県社会福祉協議会(フードバンク)	3回	3,909点	877,324円
子ども食堂(3団体)	11回	1,544点	507,661円
合計	14回	5,453点	1,384,985円

※上記の他、ハーツから直接子ども食堂に食材提供している事例もあります。



国体・障スポを応援

2018年度開催の『福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会』の趣旨賛同しオフィシャルサポーターとして寄付を行いました。健康長寿な福井づくりを応援します。



学校教育・職場体験受入

ハーツやきらめき、ハーツきつずなど、小中学生や高校生など、社会見学や職場体験、インターンシップを積極的に受けています。



子どものスポーツ活動支援

地元サッカーチーム「サウルコス福井」と「サウルコスと遊ぼう」を2016年より実施し、2018年度は6会場で開催し、健全な子どもの育成支援に取り組まれました。



県幼児画コンクールへの協賛

県内の幼稚園・保育園が参加する幼児画コンクールに2016年より協賛し、幼児の情操教育への支援に取り組んでいます。



生協ボランティアセンターの設置

2017年10月よりレインボーフーム応援団やきらめき応援団など生協が推進するボランティアの窓口を一元化しました。また、アクティブシニア層のボランティア活動参加促進のきっかけづくりとして福井市総合ボランティアセンターと共催で男のシニア達人塾を開催しました。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協定		あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町	締結数	福井県
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市7町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	—	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	—	丹南きらめき	—	—	—	敦賀きらめき	—	—	—	—	—	2自治体 4事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括協定	協定の有無										○								1町	
レジ袋削減協定	協定の有無		○			○		○	○				○	○					6市	○

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機関名	役職名
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井県農林水産加工事業推進会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員
	福井県 新地鶏推進協議会	会員(提供店)
	福井県特定鳥獣保護管理計画(いのしし・サル)検討委員会	委員
	福井県森林審議会	委員
	福井県卸売市場審議会	委員
	福井県国土利用計画審議会	委員
	福井市食育推進会議	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
福祉介護	福井県社会福祉協議会	評議員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	大野市 結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前町介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
	敦賀市介護認定審査会	委員
	大関まちづくり協議会	いきいきフレンドリー部会委員
	全国地域包括ケアシステム連絡会	理事
一般社団法人 福井県介護福祉士会	理事	
環境	環境ふくい推進協議会	副委員長、育成支援部会長
	福井市環境推進会議	監事
	福井市くらしと環境をよくする会	企画委員、委員
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	つるが環境みらいネットワーク	委員
ボランティア	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員
労働	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	福井県労働者福祉協議会	幹事、事業団体実務責任者会議
	公益財団法人 福井県労働者福祉基金協会	理事、評議員
	一般財団法人 福井県労働者信用基金協会	評議員
男女共同参画	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	委員
	つるが男女共同参画ネットワーク	副会長
	敦賀市男女共同参画策定委員会	委員
	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
経営	福井経済同友会	幹事
	福井商工会議所	議員
	一般社団法人 福井県経営品質協議会	副会長、運営委員
その他	福井市子ども・子育て審議会	委員
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員
	福井県日本中国友好協会	参与
	福井県協同組合連絡会	構成員



COOP 県民せいきょう

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

お問い合わせ
コールセンター

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

 **0120-016-165**

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時
※受付時間外は、音声ガイドにて、お問い合わせの受付と、緊急時の連絡先をご案内しています。

●ホームページ

県民せいきょう

検索



県民せいきょう
Facebook



動画でも福井県民生協の
SDGsの取り組みを
紹介しています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。